

# 各地の話題 登米市

関係機関がワンチームで就農者支援

2025年4月18日号掲載

全国農業  
新聞  
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

登米市では、生産技術の向上を目指す新規就農者等に、巡回支援を行う「新規就農者等早期経営安定支援事業」を行っている。長年の経験と技術等を持つ指導農業士やＪＡ生産部会長等が「登米農業マイスター」に任命され、営農指導を行っている。令和６年度は、３名の農業者が事業を活用した。そのうち、３月１１日に営農指導を受けたのは、ネギ農家として令和５年度に就農した伊藤涼さん。マイスターのＪＡみやぎ登米ネギ部会の伊藤良博さんと県農業改良普及センターやＪＡ、登米市、農業委員会事務局職員が、育苗ハウスと定植予定の圃場を巡回した。

良博さんは、苗の状況を見ながら、使っている肥料や水やりのタイミングなどを確認しアドバイス。圃場では土づくりや排水対策について意見を出し合った。涼さんは「現場に来て助言をしてもらえるので助かる」と話し、今年度もこの事業を利用する予定だ。

良博さんは「自分とは違う新しい技術も取り入れており、どのような影響がでるか興味深い。今後に期待している」と語った。

【記事提供】 登米市農業委員会

苗の状態を確認する良博さん（左）と涼さん



3月11日の集合写真



令和７年度から作付する圃場を確認する関係者

